

会 議 録

会議の名称	第2回 行田市水道事業運営審議会
開催日時	平成21年10月16日(金) 開会; 10時30分 ・ 閉会; 11時10分
開催場所	行田市水道庁舎 2階 会議室(3)
出席者(委員)氏名	吉田豊彦会長 岡野充甫副会長 大河原梅夫委員 野村正幸委員 田口英樹委員 栗原二郎委員 松井 隆委員 小林弘子委員 古田和子委員 松下佳司委員 児玉悦子委員
欠席者(委員)氏名	川島昭雄委員
事務局	橋本都市整備部長 野中水道課長 梁瀬管理担当主査 関口
会議内容	(1) ダクタイル鋳鉄管について (2) その他
会議資料	(資料名・概要等) ・「第2回 行田市水道事業運営審議会資料」
その他必要事項	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事 務 局	<p><b>－市民憲章の唱和－</b></p>
事 務 局	<p><b>1 開 会</b></p>
都市整備部長	<p>平成21年度第2回行田市水道事業運営審議会を開会します。</p>
事 務 局	<p>報告事項・第1回審議会のときにお話をしましたが、松井委員におかれましては、水道事業運営審議会委員として長く活躍されましたので、市制施行60周年・文化の日記念式典の表彰規程により、推薦したところ10月9日付けにて表彰が決定したということで、私どもに通知がありましたので、ご報告させていただきます。</p>
事 務 局	<p><b>2 あいさつ</b> 橋本都市整備部長より挨拶する。</p>
事 務 局	<p>本日の行田市水道事業運営審議会会議は、行田市水道事業運営審議会条例第6条第3項の規定により、委員の過半数が出席しており会議は成立していることを報告します。</p>
事 務 局	<p><b>3 議 事</b></p>
事 務 局	<p>続いて、議事にはいる。</p>
事 務 局	<p>行田市水道事業運営審議会条例第6条第2項の規定により、審議会の議長は会長が務めることと規定されておりますので、吉田会長に議事進行をお願いします。</p>
吉田会長	<p>議事に入る前に、一言申し上げます。ただ今は、事務局から話がありましたように、松井委員におかれましては、表彰が決定したということで、おめでとうございます。お祝いを申し上げます。</p>
吉田会長	<p>さて、委員の皆様には、大変お忙しい中ご出席いただきまして有難うございます。季節としては紅葉の時期になり、しのぎやすくなりましたが、マスコミではインフルエンザのことが毎日のように報道され、流行が大きく危惧されておりますので、健康に留意されるようお願いいたします。それでは、ただ今から第2回行田市水道事業運営審議会を開催します。先ほど部長より話がありましたように、この審議会の終了後には、この会議でもよく出てくる言葉であります「ダクタイル鑄鉄管」とはどういうものか、ということで岡野副会</p>

長にご配慮いただき、鑄鉄管を造る工場を視察することになりました。今日一日よろしくお願い致します。これより、暫時、議長として議事の進行を務めさせていただきますので、ご協力をお願いします。

それでは本日の議事の(1)「ダクティル鑄鉄管について」を議題といたします。

それでは、事務局から説明をお願いします。

「ダクティル鑄鉄管について」資料に基づき説明する。

以上で事務局の説明が終わりましたが、これについて、何かご質疑はございますか？ なお、詳しいことについては、これから工場へ行きまして、そちらでも質疑応答の時間が設けてあるということです。よろしくお願いします。

第1回審議会の資料に管種別の内訳がありますが、平成20年度末までのダクティル鑄鉄管の総延長が約319kmで、それ以外の管種を含めると約486kmになり、約70%近くがダクティル鑄鉄管という状況です。予算的にも毎年のように建設改良費が計上されていますが、その内の建設費がかなり大きな額になっており、老朽管の布設替えに占める、ダクティル鑄鉄管の使用頻度が高くなっています。ダクティル鑄鉄管のことについて、今回の事務局の説明資料がたいへん役に立ちますし、これから工場視察に行きまして、この資料を見直して頂けたらと思います。

ダクティル鑄鉄管は、他の管よりは多少割高になりますが、耐震強度に優れた良い管です。普通の鑄鉄管の古い使用例ですが、フランスでは1664年に埋設された管がそのまま使われています。経過年数が318年です。イギリスのロンドンでは、1810年に埋設された管が172年使われています。アメリカのフィラデルフィアでは、1822年に埋設され160年使われています。日本の横浜では、1885年に最初に使われていまして、経過年数が97年です。東京では1888年に使われています。ダクティル鑄鉄管がアメリカで発明されたの

事務局

吉田会長

岡野副会長

	<p>は昭和 23 年で、日本では昭和 28 年に初めて生産されています。昭和 36 年には日本水道協会規格になっています。また昭和 49 年に日本工業規格になり、これ以降ダクティル鑄鉄管の生産が、一気に増えております。その後、戦後復興と高度経済成長をささえた時期に使用された石綿セメント管が老朽管となり、各所で漏水が増えてきたため布設替えの方針が出され、全国的に老朽管の布設替え事業が行われています。ダクティル鑄鉄管の布設は、老朽管対策と安定した給水を図るための事業推進ということで、全国的に実施されています。以上です。</p>
吉田会長	<p>事務局の説明もありましたが、岡野副会長から、今までの経緯と別の角度からの説明を頂きました。他に、何かありますか。</p>
野村委員	<p>Q：材料費は企業努力でどうにかなると思いますが、布設費については、同じような材料を使って、何故このように差が出来るのですか。</p>
野中水道課長	<p>A：ダクティル鑄鉄管の K 形と NS 形について、工場でご覧いただければ分ると思いますが、形が違います。製造工程に多くの違いがあると思いますので、材料費が高くなっています。布設につきましても形状が違うために、難しいということではありませんが、今までの技術とは違うものがが必要です。今までと違った工具を必要として、管の結合を行うものですし、手間が多くかかり布設費が上がってしまうということです。</p>
吉田会長	<p>聞くところによりますと、行田市はダクティル鑄鉄管の NS 形を平成 19 年度から使用しているということですが、管を布設するにあたり作業員の技術講習を義務付けているということですか。</p>
野村委員	<p>Q：工賃ということですか？</p>
野中水道課長	<p>A：布設費が工賃になりますが、一箇所の接続手間が多くかかるということです。</p>
岡野副会長	<p>ダクティル鑄鉄管の K 形は管を接合して、上から何箇所かをボルトで締めますが、NS 形は、抜け出し防止のリングとか、特別なボ</p>

野中水道課長	<p>ルトがありまして、特にゴムリングの入れ方や抜け出し防止のリングの入れ方、締め具合などやり方が非常に難しく、地震などで一気に圧力がかかって動いても、安全にストッパーが架かるようになっています。材料も多いし工具も多い、手間も多くかかります。市で使う管は300mm程度までですから、作業は外でやりますが、600mm以上になりますと作業員が管の中に入り、中で抜け出し防止の作業をします。曲り管の所は、杭を打って止めないと、圧力で水道管がよじれて、縦割れをして水が噴き出ることがありますので、接続部分をしっかり止めないといけないので、手間がかかります。</p>
吉田会長	<p>貴重なご意見ありがとうございました。これから工場のほうへ参りますので、そこでもこのような説明があるかと思えます。野村委員からも質問がありましたが、ご理解を願いたいと思えます。大変申し訳ありませんが、時間も迫っておりますのでよろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>すみませんが、工場視察も何時からということをお願いしてありますので、これで終了いたします。以上で、本日の議長の職を解かせて頂きます。ご協力有難うございました。</p>
事務局	<p><b>4 閉 会</b></p> <p>慎重なご審議、誠に有難うございました。</p> <p>それでは、閉会にあたり岡野副会長からご挨拶をお願い致します。</p>
岡野副会長 事務局	<p>挨拶 有難うございました。</p> <p>それでは、以上をもちまして、第2回 行田市水道事業運営審議会を終了とさせていただきます。</p> <p>なお、この後は日本鑄鉄管(株)の久喜菖蒲工場に行きまして、ダクタイル鑄鉄管とはどのようなものかを、視察見学させて頂く予定となっておりますので、引き続き委員の皆様には、よろしくお願ひ致します</p>